

QBS経営者クラブ発足！

QANでは昨年9月、分科会の一つとして「QBS経営者クラブ」を立ち上げました。

本クラブは、QBS在校生・修了生の経営者を中心にネットワークを広げ、意見交換や情報共有を通じて経営リテラシーの向上を図ることを目的としています。

11月14日(金)、天神住友生命FJビジネスセンター2階カフェラウンジを貸し切り、第1回懇親会を開催いたしました。平日夜間にもかかわらず、会員28名に加え、顧問の小城専攻長にもご参加いただき、多くの皆様にお集まりいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

当日は18:00より開場し、開会までの時間を自由交流の場として活用。活発な名刺交換が行われ、参加者同士のネットワークが大きく広がりました。開会後は、1人1分程度の自己紹介を実施し、パワーポイントを用いた発表を通じて相互理解を深めました。立食形式での歓談も終始和やかでありながら活発に行われ、会場は大いに盛り上がりました。

参加者からは「ビジネスに繋がった」「経営者同士で意思決定が早い」といった声も寄せられ、クラブの目的である有意義な交流の場を実現できた手応えを感じております。なお、3月31日時点での会員数は73名となり、QBS在校生・修了生の経営者を中心に、意欲あるメンバーが集っております。今後も、会員の成長と事業発展に資するネットワークの場を継続的に創出してまいります。

QAN会長・神谷誠(18期生)



QAN代議員のご紹介

代議員は概ね40名の中より1名の割合を持って選出され、代議員総会での議決権を有します。現在、QANでは期毎に1名の方に代議員となっただいております。

1期	鵜池 浩四郎	11期	小澤 慶太郎
2期	矢頭 英典	12期	村田 大輔
3期	古賀 正博	13期	森永 健太郎
4期	若杉 誠司	14期	原田 圭悟
5期	大坪 俊宏	15期	藤井 智美
6期	岡本 洋幸	16期	大原 規行
7期	弓 洋子	17期	渡邊 由佳
8期	田苗 眞代	18期	原 美咲
9期	庄山 哲二	19期	入江 賢
10期	足立 憲正	20期	山口 真彦
		21期	瀬戸山 陽平 (敬称略)

2026年2月に代議員選挙を実施し、1期～15期、19期・21期の計17名の皆さまに立候補いただきました。投票の結果、いずれの方も代議員として信任されましたので、ご報告申し上げます。代議員の皆さまには、それぞれの期を代表する「顔」として、QANの活動へのご協力をお願いすることになります。また、2026年6月の総会終了後には、16期～18期・20期・22期の代議員選挙を実施する予定です。QANは、会員の皆さまのご理解とご協力に支えられて活動を続けております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第7回QAN定時代議員総会 & 講演会・懇親会 開催のご案内

QANでは6月28日（日）に「第7回QAN定時代議員総会」「講演会」「懇親会」を開催いたします。今年度も西新プラザでの対面開催で、理事一同、計画・実施に取り組んでいます。今年は「技術力 × 圧倒的アウトプット × 働きやすさ × 高成長」を同時に成立させ、高く評価されているクラスメソッド株式会社の横田社長をお招きしての講演会を予定しております。総会・講演会の詳細は決まり次第、メーリングリストやFBグループ、QANのHP、LINEオープンチャット等で発信いたします。QAN会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。



写真は昨年のももの

拡大ゼミ好評開催中です！

2026年1月10日に拡大ゼミが開催され、「国際経営」をテーマに佐藤亜希子准教授の講義が行われました。投資銀行・コンサル・起業など豊富な実務経験と海外での研究経験を持つ佐藤先生のもと、5期から23期まで18名が参加し、海外進出の目的やグローバル統合とローカル適合のジレンマなど、本質的な議論が交わされました。



「組織は戦略に従う」という原則を再確認できたことも大きな学びでした。

佐藤先生の講義は2026年前期にも開講予定で、リカレント受講も歓迎されています。

講義の最後には、箱崎サテライト移転を含むQBS発展のため、経済学研究院基金への協力が呼びかけられました。

QAN拡大ゼミ担当理事
吉田旭(19期生)
瓜生修一(21期生)

修了生リレー紹介(6期生・磯貝健哉さん)

6期塩次ゼミ修了の磯貝健哉です。現在は、株式会社梓設計九州支社の副支社長を務めています。当社は国内外の空港やスタジアムなど、多様な用途の建築設計を手がけています。

QBS在籍時に最も大きな出来事は、「勤務先の倒産」でした。大学卒業後は大手設計事務所に就職し、その後10数年を経て不動産ディベロッパーへ転職しました。不動産企画などを担当する中で会計知識が必要になり、QBSに入学したのですが、その年の秋、リーマンショックの影響で会社が民事再生手続きに入ってしまった。周囲には相談しづらい状況でしたが、QBSの仲間たちが本当に支えてくれました。就職案内を持ってきてくれた同期、債権者対応の初動について助言してくれた弁護士の同期、さらには私の状況を記事にしてくれた新聞記者の同期もいました。その記事を読んだ両親・友人が私の置かれた状況を理解してくれました。当時は子どもも小学生で、不安しかない日々でしたが、仲間の支えがどれほど心強かったか——今でも感謝してもしきれません。

その後、5期の鎌田さんが副社長を務める三洋ビル管理にご縁をいただきました。結果として私は、企画 → 設計・施工 → 維持管理・運営まで理解できる、業界でも数少ないキャリアを積むことができました。

開発は時間がかかる仕事ですが、残された時間で、福岡をはじめ九州がこれまで以上に面白くなるようなプロジェクトに携わっていきたいと考えています。

次回は、これからの開発のホープ、九州旅客鉄道住宅開発部の19期 薦田 拓也さんへバトンをお渡します。

磯貝健哉(6期生)



2022年7月 左端が筆者

教員紹介(柿野耕平助教)

「ビジネス統計学」と「新産業創出」を担当しています、柿野耕平です。QBSで講義をしつつ、昆虫科学・新産業創生研究センターも併任しています。QBSに来て気づけば2年。着任の1週間前に子どもが生まれ、新しい仕事と新しい家族が同時にやってきた怒涛の日々でしたが、公私ともにこれほど濃密な時間はなかったと思います。

2年前まではバイオ領域で研究をしていましたが、現在は大学の研究成果を社会に届ける仕組みづくりを、産学連携・技術商業化の研究と実践を通じて進めています。その中で何より刺激を受けているのが、QBSの学生の皆さんの熱量です。九大の内外で授業をする機会がありますが、QBSでは質問の量も質もまったく違います。本質をつく問いが次々に飛んでくる。教える立場にいるからこそ、自分もまた鍛えら



柿野耕平 助教
(担当:「ビジネス統計」「新産業創出」)

れている。この2年でそれを身をもって感じています。

今、最も力を入れているのは、昆虫・バイオ分野を起点とした産学連携の新しいモデルづくりです。この領域は構造的に人手が足りず、従来のやり方では限界があります。九大の研究アセットとQBS/QANの皆さんが持つ事業化の知見を結びつけ、AIも取り込みながら、連携の進め方自体を変えていく。皆様と一緒に面白いことを仕掛けていける一年にしたいと思っています。

村藤先生/新著のご紹介

2025年3月に長年教鞭をとられたQBSをご退職され、同年4月よりZEN大学教授に就任された村藤先生が、新著を刊行されましたのでご紹介いたします。

本書は、日本の大学生と社会人に向けたコーポレート・ファイナンスの入門書です。事業価値・企業価値の考え方から、事業ポートフォリオや資本構成の最適化、M&Aの判断軸まで、経営に不可欠な財務の基礎を体系的に学べます。

日本では企業財務の理論が十分に浸透してこなかった背景がありますが、本書は経営者や若いビジネスパーソンが、欧米型のリスク・リターン思考や時価評価に基づく意思決定を行えるようになることを目指しています。カーボンニュートラルや生成AIなど変化の激しい時代に、新規事業や経営判断を支える実践的な知識を提供する一冊です。

Business
Management
and
Finance
Isao Murafuji

企業経営 と ファイナンス

ZEN大学教授・九州大学名誉教授

村藤 功

(著)

ファイナンスの基礎知識は、
企業戦略や経営を考える上で
必須の教養知識となる。

中央経済社

訃報のお知らせ

出頭則行先生 < 2025年11月24日 ご逝去 >

2003年4月のQBS創立時より「マーケティング戦略」「国際マーケティング」をご担当されました。

出頭先生は、気さくで温かいお人柄で広く知られ、多くの学生・教職員から親しまれてきました。先生のユーモアあふれる語り口や、学生一人ひとりに向き合う姿勢を懐かしく思い出される方も多いのではないのでしょうか。

ご生前、出頭先生は皆さんに次のような言葉を残されています。

「人生は一期一会でみんなとの出会いと共有した時間は貴重すぎてわたしにはもったいない程のものです。

神道では亡くなるとすぐ神様になります。来世では背後霊神としてみなさんの幸せを見守ってゆきますね。 さようなら 出頭則行」

小西龍治先生 < 2026年4月2日 ご逝去 >

2004年度から2007年度まで「ファイナンシャル・リスク」「マネジメント・コントロール」をご担当されました。

小西先生は、厳しさの中に温かさを宿し、学生の皆さんに高い志と真摯な姿勢を求められた先生でした。

ご自身がQBSのニューズレターのタイトルに記された「思い起こせよ『難解』の、今は懐かし『龍』の講義を」という言葉のとおり、時に難解でありながら、学生に真剣に向き合い、熱意をもってご指導されました。

お二人の先生がQBSにもたらしてくださった多くの学びと温かいご指導に、改めて深く感謝申し上げます、ここに謹んで哀悼の意を表し、出頭先生、小西先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

なお、QANより供花をお送りいたしましたことを申し添えます。